

第1回 NITS 大賞（平成29年度）エントリーシート

北海道浦臼町立浦臼中学校 本川 朋一

A-15

【活動名】コミュニティ・スクール（学校運営協議会）制度導入に向けての取組

解決すべき課題：

平成30年度導入予定のコミュニティ・スクール制度に向けて町内の幼小中学校の連携及び保護者・地域との協働について平成28年度後半から取組を始め、平成29年度に準備委員会を立ち上げ条件整備に当たっている。解決すべき課題は

- ・小中義務教育9か年の教育課程の編成（カリキュラム・マネジメントの観点から）
- ・学校・家庭・地域が一体となった運営に直結する各学校の分掌業務の見直し（地域住民が参画しやすい組織体制の見直し）
- ・子供を取り巻く学校・家庭・地域の実態等を把握するための連携協議会の開催
- ・学校運営の承認を得るための学校経営に関するシラバスの作成（カリキュラム・マネジメントの視点からの作成）

目的や背景：

本町は人口1900人程度、小中1校児童生徒数は合わせて120人程度である。各学校のPTA役員、学校評議員、学校関係者委員などは顔ぶれが固定化している。子供たちを立派に成長させようという気運は地域に根付いており、学校の取組にとっても協力的である。学校の組織としては幼小中連携委員会が存在するが、部会が2部しか存在しておらず成果が上がらない状況であった。

そのような折に教育委員会より平成30年度コミュニティ・スクール制度導入意向が校長会に提示され、平成28年度後半より取組を進めている。早い段階より教職員に向けての説明を繰り返しているが、当事者意識が薄く、また更なる多忙に繋がるのではないかと懸念で、導入に向けて前向きな職員は少ない状況であった。家庭・地域には学校だより等を通して丁寧なお知らせも繰り返しているが、特段大きな反応が見られない状況であった。

活動内容：（平成28年度後半）

- ・教職員及び保護者・地域に向け、コミュニティ・スクールの概要について説明会を実施。
- ・平成29年度、小中の分掌業務統一に向けての協議（学力向上部、豊かな心部、健やかな体部、教育活動を支える部の4部体制）
- ・コミュニティ・スクールマイスターの招聘・PTA役員、学校評議員、学校関係者評価委員への説明（平成29年度）
- ・コミュニティ・スクール準備委員会の立ち上げ
- ・幼小中連携委員会の改編（上記の分掌業務4部体制とし小中が一体となった部会。将来的には保護者、地域も参画）
- ・全国コミュニティ・スクール研究大会への参加（校長・教委）・北海道コミュニティ・スクール研究大会への参加（各校より教職員複数で）
- ・平成30年度教育課程の編成に向け各校の教頭、教務主任レベルでの調整会議の実施（カリキュラム・マネジメントの視点より）

活動の成果：

- ・小中分掌業務を統一したことより小中教員間の連絡調整が活発化し、目の前の子どもの課題を解決しようとする教員の実行性が高まった。（今年度新たな取組…中教員による出前授業〔体育科～課題としている基本技能（マット運動・球技）の指導充実〕〔音楽科～合唱指導の充実〕）
- ・次年度の総合的な学習の時間における地域学習の取組等に、CSを活用する計画案が分掌より提案された。
- ・学校経営の承認を得るための学校説明資料（下記）を活用したことより、学校評価の学校経営全般に係る評価が大きく向上した。
- ・学校説明資料は校長の経営方針を教職員へ説明する際にも効果的であり、新年度計画策定への大きな指標となっている。

アピールポイント（アイデア）： 学校説明資料（カリキュラム・マネジメントの視点）＊H30年度に向け作成中。一部欠落している箇所あり

（参照資料：高知県本山町立嶺北中学校学校紹介パンフ）

（留意点）グランドデザインを軸としながらも子どもたちの活動の様子を多く掲載し、視覚的に印象深く仕上げる。また、実際に地域の方々に、何に協力していただくかを理解してもらえようように作成することをポイントとした。H31には小中合作の説明資料に発展させたい。